

1年生（留年生を含む、今年度入学の編入生を含む）

【Ⅰ】学習テーマとその趣旨

①学習テーマ 「人と人とのささえあいについて考える」

②テーマの趣旨

この度の東北・関東大震災にあたり、お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、被災された方々にお見舞いと共に復興の早からんことを心から祈念申し上げます。

晴れて大正大学仏教学部にご入学されたみなさん方と、予定されていた4月1日の入学式でお会いすることができなくなってしまったのは本当に残念です。みなさん方のご家族やご親戚、ご友人をはじめ、まわりの方々の被災状況はいかがでしょうか。今回の大震災では、多くの方々がお亡くなりになり、数十万人の方々が避難生活を余儀なくされています。そうした方々に心を寄せつつ、これから大学でお会いするまでの3週間分の学習テーマについて述べていきます。

1年生の学習テーマは「人と人とのささえあいについて考える」です。言うまでもなく、私たちは多くの方々に支えられて生きています。今回の大震災の報道を通じて、そうした点についてあらためて見つめ直していきましょう。

【Ⅱ】学習の進め方について

①各自の課題を設定しよう—各種の報道を通じて—

今回の大震災をめぐって、本・新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどの各種機関を通じて、多くの報道がされています。そうした報道を通じて、皆さん方が、悲しい思いや辛い思いをしたり、感動したり、疑問に思ったりしたことがたくさんあると思います。その中から、「人と人との支え合い」に関係すると思われる具体的事例を各自で設定し、それについて広く情報を集めていきましょう。

（取り上げる課題の具体的事例）

- ・〇〇学校で津波に遭った時の先生と生徒の信頼関係について
- ・〇〇町での被災後の地域住民の助け合いについて
- ・〇〇町での自衛隊員（警察官、消防隊員など）の活躍について
- ・〇〇市から被災者支援に向けた取り組みについて
- ・世界各国の報道をめぐって

（情報収集についてのアドバイス）

・情報収集の際、設定したテーマに沿って4月第1週、第2週…などと時系列を追って、あるいは、特定地域に絞って情報を収集するなど、各自で工夫をこらしてみましよう。

②レポートの作成

①で収集した情報とその整理を通じて、「人と人との支え合い」をテーマにレポートを作

成します。レポートの形は、(1)序論—課題の選定(どうしてこの課題を選定したのかを述べてみましょう)、(2)本論—情報の整理(集めた情報を自身の創意工夫によって整理してみましょう)、(3)結論—考察(自分自身の意見をまとめてみましょう)の3段構成を基本として取り組んでみましょう。最後に、レポートをまとめるにあたって収集した資料一覧、参考にした本・新聞・雑誌・インターネットのURLなどの明示を忘れないようにしましょう。

【Ⅲ】学習にあたってのアドバイス

①問い合わせについて

学習を進めながら、何か疑問や質問があったならば、一人で悩まずに下記の仏教学科専用電話やメールアドレス宛に気軽に連絡をしてみてください。みなさん方に納得していただくまで親切に対応いたします。

*仏教学科専用電話：03(5394)3049(ファックスも同じ)

月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*質問アドレス：k_hayashida@mail.tais.ac.jp

1年生担当教員：林田康順(はやしだこうじゅん)

②HPやブログでの情報発信について

大正大学では、ホームページ上にこの学習テーマについての専用ページを設けて学科毎に情報を整理しています。ご覧になってください。

また仏教学科では、4月25日の入学式までの間、週1回程度、仏教学科専用のブログでさまざまな情報をお伝えし、あわせて、皆さん方の学習の進捗状況についてお尋ねしていきます。インターネットを開いたならば、随時、仏教学科のブログを確認するようにしてください。

*大正大学HP「学習テーマページ」：

メインページ→【自学・自習】課題について→人間学部仏教学科・仏教学部仏教学科

*仏教学科専用ブログ：大正大学HP→教育〔学部〕→仏教学部【仏教学科】

<http://www.tais.ac.jp/education/faculty/d-1/d-1.html>

③質問コーナー・相談コーナーの設定について

仏教学科では、今回まとめていただくレポートについての質問をはじめ、その他もろもろの相談について、質問コーナー・相談コーナーをもうけて教員や職員が対応しています。1年生の皆さんは、まだ入学式前ですが、どうぞ気軽に足を運んでみて下さい。お待ちしております。コーナーの場所と開催時間は下記の通りです。

また、1年生は大学に不慣れな方も多いと思います。いろいろな相談に親身になって世話をしてくださる仏教学科所属の職員の方のメールアドレスも付しておきますので、気軽に連絡をとってみてください。

*質問コーナー、相談コーナー：大正大学1号館5階 仏教学科事務室

月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*質問、相談メール：so_ikeda@mail.tais.ac.jp、池田そのみ（いけだそのみ）

*特に仏教学科では、4月6日（水）、13日（水）、20日（水）の3日間、午前11時から正午までの1時間、1号館4階の141教室において学科懇談会を設定します。交通事情などが許し、大学に来ることができる方は、ぜひ足を運んでください。お待ちしております。

【IV】レポートの形式や提出について

①分量—2000字程度。

②形式—原稿用紙かワープロ出力で提出してください。原稿用紙の場合は、B4版、400字のものを使用してください。ワープロの場合は、A4縦置き、横書きで40字×40行設定で出力してください。

③提出について—4月28日（木）の大学入門Ⅰの第3講義（午後2時～）の時間に提出してください。提出していただいたレポートは、後日、教員が添削して返却します。レポートの評価は、基礎ゼミナールⅠ（1年生必修科目）の成績に加味されます。

※今年度入学の編入生のレポート提出

今年度入学の編入生のレポート提出は、各自が受講する専門研究Ⅰの第1回目の講義時に提出してください。提出していただいたレポートは、後日、教員が添削して返却します。レポートの評価は、専門研究Ⅰの成績に加味されます。その詳細は学科別新編入生ガイダンス（4月30日12時30分～）において説明します。

2年生（留年生を含む）

【I】学習テーマとその趣旨

①学習テーマ 「震災を通じて—仏教の教えから何を学べばいいのか—」

②テーマの趣旨

この度の東北・関東大震災にあたり、お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、被災された方々にお見舞いと共に復興の早からんことを心から祈念申し上げます。

みなさん方のご家族やご親戚、ご友人をはじめ、まわりの方々の被災状況はいかがでしょう。今回の大震災では、多くの方々がお亡くなりになり、数十万人の方々が避難生活を余儀なくされています。そうした方々に心を寄せつつ、これから大学でお会いするまでの3週間分の学習テーマについて述べていきます。

2年生の学習テーマは、「震災を通じて—仏教の教えから何を学べばいいのか—」です。皆さん方は、これまで1年間、仏教の基本的なものの見方や考え方を学んできました。もちろん、それは専門知識と呼べるようなものではないかも知れません。しかし、そんな皆さん方の中に

も、この震災を通じて、「仏教の教えから何を学ばばいいのか」と模索している方も多いことでしょう。今回の震災を通じて、そうした点についてあらためて見つめ直していきましょう。

【Ⅱ】学習の進め方について

①各自の課題を設定しよう—震災報道と照らし合わせて—

今回の大震災をめぐって、本・新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどの各種機関を通じて、多くの報道がされています。そうした報道の中、皆さん方が、悲しい思いや辛い思いをしたり、感動したり、疑問に思ったりしたことがたくさんあると思います。そうした報道を目にしている皆さん方が「仏教の教えから学ぶことができるのではないかと考えられる物の見方や思想を各自で設定し、それに基づいて整理を施していきましょう。

(取り上げる課題の具体例)

- ・ 釈尊の生涯から学べること
- ・ 縁起—ささえあい—について
- ・ 八正道の教えから学べること
- ・ 慈悲の心から学べること
- ・ 六波羅蜜から学べること
- ・ 四摂法から学べること
- ・ 自利利他の精神について
- ・ 菩薩の実践について

(学習をはじめるにあたって)

学習をはじめるにあたって、1年生で学んだ、基礎仏教学Ⅰと基礎仏教学Ⅱのテキストやノートを読み直して、釈尊伝や大乘仏教の精神を振り返ってから課題に取り組みましょう。

②レポートの作成

①で整理したものに基づいてレポートを作成します。レポートの形は、(1)序論—課題の選定(どうしてこの課題を選定したのかを述べてみましょう)、(2)本論(選定した課題に基づいて自由に論を展開してみましょう)、(3)結論—考察(自分自身の意見をまとめてみましょう)の3段構成を基本として取り組んでみましょう。最後に、レポートをまとめるにあたって収集した資料一覧、参考にした本・新聞・雑誌・インターネットのURLなどの明示を忘れないようにしましょう。

【Ⅲ】学習にあたってのアドバイス

①問い合わせについて

学習を進めながら、何か疑問や質問があったならば、一人で悩まずに下記の仏教学科専用電話やメールアドレス宛に気軽に連絡をしてみてください。みなさん方に納得していただくまで親切に対応いたします。

* 仏教学科専用電話：03(5394)3049 (ファックスも同じ)

月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*質問アドレス：r_honda@mail.tais.ac.jp

2年生担当教員：本多隆仁（ほんだりゅうにん）

②HPやブログでの情報発信について

大正大学では、ホームページ上にこの自習テーマについての専用のページを設けて学科毎に情報を整理しています。ご覧になってください。

また仏教学科では、4月26日の学科別ガイダンスまでの間、週1回程度、仏教学科専用のブログでさまざまな情報をお伝えし、あわせて、皆さん方の学習の進捗状況についてお尋ねしていきます。インターネットを開いたならば、随時、仏教学科のブログを確認するようにしてください。

*大正大学HP「学習テーマページ」：

メインページ→【自学・自習】課題について→人間学部仏教学科・仏教学部仏教学科

*仏教学科専用ブログ：大正大学HP→教育〔学部〕→仏教学部【仏教学科】

<http://www.tais.ac.jp/education/faculty/d-1/d-1.html>

③質問コーナー・相談コーナーの設定について

仏教学科では、今回まとめていただくレポートについての質問をはじめ、その他もろもろの相談について、質問コーナー・相談コーナーを設けて教員や職員が対応しています。どうぞ気軽に足を運んでみて下さい。お待ちしております。コーナーの場所と開催時間は次の通りです。

*質問コーナー、相談コーナー：大正大学1号館5階 仏教学科事務室

月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*特に仏教学科では、4月6日（水）、13日（水）、20日（水）の3日間、午前11時から正午までの1時間、1号館4階の141教室において学科懇談会を設定します。交通事情などが許し、大学に来ることができる方は、ぜひ足を運んでください。お待ちしております。

【IV】レポートの形式や提出について

①分量—2000字程度。

②形式—原稿用紙かワープロ出力で提出してください。原稿用紙の場合は、B4版、400字のものを使用してください。ワープロの場合は、A4縦置き、横書きで40字×40行設定で出力してください。

③提出について—4月26日（火）の学科別ガイダンス（午後2時30分～）の時間に提出してください。提出していただいたレポートは、後日、教員が添削して返却します。レポートの評価は、基礎仏教学Ⅲの成績に加味されます。

3年生 (なお今年度入学の編入生は1年生の課題を選択すること)

【I】学習テーマとその趣旨

①学習テーマ 「震災を通じて—仏教の教えを社会にいかす—」

②テーマの趣旨

この度の東北・関東大震災にあたり、お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、被災された方々にお見舞いと共に復興の早からんことを心から祈念申し上げます。

みなさん方のご家族やご親戚、ご友人をはじめ、まわりの方々の被災状況はいかがでしょう。今回の大震災では、多くの方々が亡くなりになり、数十万人の方々が避難生活を余儀なくされています。そうした方々に心を寄せつつ、これから大学でお会いするまでの3週間分の自習テーマについて述べていきます。

3年生の学習テーマは、「震災を通じて—仏教の教えを社会にいかす—」です。皆さん方は、これまで2年間、仏教の教えを中心に学んできました。そして、いよいよ新年度からは専門研究も始まり、各自の興味のある研究テーマもおぼろげながら見えてきたのではないかと思います。もちろん、それはまだ研究テーマと呼べるようなものではないかも知れません。しかし、この震災を通じて、改めて見つめ直すことになったのが、仏教の教えと社会との関わりではないでしょうか。そこで、今回の大震災を通じて、そうした点についてあらためて見つめ直していきましょう。

【II】学習の進め方について

①各自の課題を設定しよう—震災報道と照らし合わせて—

今回の大震災をめぐって、本、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどの各種機関を通じて、多くの報道がされています。そうした報道の中、皆さん方が、悲しい思いや辛い思いをしたり、感動したり、疑問に思ったりしたことがたくさんあると思います。そうした中、みなさん方が専門研究を中心にして学んでいこうとする研究テーマと関連すると思われる課題を各自で設定し、それについて整理を施していきましょう。

(取り上げる課題の具体例)

- ・ 釈尊の生涯から学べること
- ・ 縁起—ささえあい—について
- ・ 八正道の教えから学べること
- ・ 慈悲の心から学べること
- ・ 六波羅蜜から学べること
- ・ 四摂法から学べること
- ・ 自利利他の精神について
- ・ 菩薩の実践について
- ・ 菩薩の精神を通じて
- ・ 空の思想を通じて
- ・ 唯識の思想を通じて
- ・ 伝教大師最澄の教えから学べること
- ・ 弘法大師空海の教えから学べること

- ・法然上人の教えから学べること
- ・法華経の精神から学べること
- ・真言密教の教えから学べること
- ・浄土教の救済思想から学べること

(学習をはじめるとにあたって)

学習をはじめるとにあたって、1年生、2年生で学んだ、講義のテキストやノートを読み直してから、レポート作成に取り組むこととしましょう。

②レポートの作成

①で整理した内容に基づいてレポートを作成します。レポートの形は、(1)序論—課題の選定(どうしてこの課題を選定したのかを述べてみましょう)、(2)本論(選定した課題に基づいて自由に論を展開してみましょう)、(3)結論—考察(自分自身の意見をまとめてみましょう)の3段構成を基本として取り組んでみましょう。最後に、レポートをまとめるにあたって収集した資料一覧、参考にした本・新聞・雑誌・インターネットのURLなどの明示を忘れないようにしましょう。

【Ⅲ】学習にあたってのアドバイス

①問い合わせについて

学習を進めながら、何か疑問や質問があったならば、一人で悩まずに下記の仏教学科専用電話やメールアドレス宛に気軽に連絡をしてみてください。みなさんに納得していただくまで親切に対応いたします。

*仏教学科専用電話：03(5394)3049(ファックスも同じ)

月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*質問アドレス：h_kimura@mail.tais.ac.jp

3年生担当教員：木村秀明(きむらしゅうめい)

②HPやブログでの情報発信について

大正大学では、ホームページ上にこの学習テーマについての専用のページを設けて学科毎に情報を整理しています。ご覧になってください。

また仏教学科では、4月26日の学科別ガイダンスまでの間、週1回程度、仏教学科専用のブログでさまざまな情報をお伝えし、あわせて、皆さん方の学習の進捗状況についてお尋ねしていきます。インターネットを開いたならば、随時、仏教学科のブログを確認するようにしてください。

*大正大学HP「学習テーマページ」：

メインページ→【自学・自習】課題について→人間学部仏教学科・仏教学部仏教学科

*仏教学科専用ブログ：大正大学HP→教育〔学部〕→仏教学部【仏教学科】

<http://www.tais.ac.jp/education/faculty/d-1/d-1.html>

③質問コーナー・相談コーナーの設定について

仏教学科では、今回まとめていただくレポートについての質問をはじめ、その他もろもろの相談について、質問コーナー・相談コーナーを設けて教員や職員が対応しています。どうぞ気軽に足を運んでみて下さい。お待ちしております。コーナーの場所と開催時間は次の通りです。

*質問コーナー・相談コーナー：大正大学1号館5階 仏教学科事務室
月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*特に仏教学科では、4月6日(水)、13日(水)、20日(水)の3日間、午前11時から正午までの1時間、1号館4階の141教室において学科懇談会を設定します。交通事情などが許し、大学に来ることができる方は、ぜひ足を運んでください。お待ちしております。

【IV】レポートの形式や提出について

①分量—2000字程度。

②形式—原稿用紙かワープロ出力で提出してください。原稿用紙の場合は、B4版、400字のものを使用してください。ワープロの場合は、A4縦置き、横書きで40字×40行設定で出力してください。

③提出について—専門研究Ⅰの第1回目の講義時に提出してください。提出していただいたレポートは、後日、教員が添削して返却します。レポートの評価は、専門研究Ⅰの成績に加味されます。その詳細は3年生ガイダンス(4月26日12時30分～)において説明します。

※今年度入学の編入生のレポート提出

今年度入学の編入生のレポート提出は、各自が受講する専門研究Ⅰの第1回目の講義時に提出してください。提出していただいたレポートは、後日、教員が添削して返却します。レポートの評価は、専門研究Ⅰの成績に加味されます。その詳細は学科別新編入生ガイダンス(4月30日12時30分～)において説明します。

4年生 (留年生を含む)

【I】学習テーマとその趣旨

①学習テーマ 「震災を通じて—各自の研究テーマと関連して—」

②テーマの趣旨

この度の東北・関東大震災にあたり、お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、被災された方々にお見舞いと共に復興の早からんことを心から祈念申し上げます。

みなさん方のご家族やご親戚、ご友人をはじめ、まわりの方々の被災状況はいかがでしょう

か。今回の大震災では、多くの方々がお亡くなりになり、数十万人の方々避難生活を余儀なくされています。そうした方々に心を寄せつつ、これから大学でお会いするまでの3週間分の学習テーマについて述べていきます。

4年生の学習テーマは、「震災を通じて—各自の研究テーマと関連して—」としました。4年生の皆さん方は、すでに3年間仏教を学び、専門研究の場でも各自の研究テーマを深めておられることと思います。そこで、この震災を通じて、みなさん方がそれぞれテーマとして学びを深めている課題と今回の震災、広くは社会との関わりについて、あらためて考え直していきましょう。

【Ⅱ】学習の進め方について

①各自の課題を設定しよう—震災報道と照らし合わせて—

今回の大震災をめぐって、本・新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどの各種機関を通じて、多くの報道がされています。そうした報道の中、皆さん方が、悲しい思いや辛い思いをしたり、感動したり、疑問に思ったりしたことがたくさんあると思います。そうした中、みなさん方が学ばれている研究テーマと関連すると思われる課題を各自で設定し、それについて情報を集めていきましょう。

なお、下記に述べる、ガイダンスが始まるまでの3週間にわたって設けられる仏教学科の質問コーナー・相談コーナーの時間は先生方も多く出講しておられます。ぜひ時間を見つけて、先生方から直接お話をうかがって各自の課題について設定するようにしましょう。また、大学に足を運ぶことができない場合は、「知のナビゲーター」に記載されているメールなどの手段を通じて、皆さんが受講している専門研究の先生と連絡をとってみましょう。

②レポートの作成

①で収集した情報や仏教の教えの整理を通じてレポートを作成します。レポートの形は、(1)序論—課題の選定(どうしてこの課題を選定したのかを述べてみましょう)、(2)本論(テーマに基づいて自由に論を展開してみましょう)、(3)結論—考察(自分自身の意見をまとめてみましょう)の3段構成を基本として取り組んでみましょう。最後に、レポートをまとめるにあたって収集した資料一覧、参考にした本・新聞・雑誌・インターネットのURLなどの明示を忘れないようにしましょう。

【Ⅲ】学習にあたってのアドバイス

①問い合わせについて

学習を進めながら、何か疑問や質問があったならば、一人で悩まずに下記の仏教学科専用電話やメールアドレス宛に気軽に連絡をしてみてください。みなさんが納得していただくまで親切に対応いたします。

*仏教学科専用電話：03(5394)3049(ファックスも同じ)

月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*質問アドレス：s_tomabechi@mail.tais.ac.jp

4年生担当教員：苦米地誠一(とまべちせいいち)

②HPやブログでの情報発信について

大正大学では、ホームページ上にこの自習テーマについての専用のページを設けて学科毎に情報を整理しています。ご覧になってください。

また仏教学科では、4月26日の学科別ガイダンスまでの間、週1回程度、仏教学科専用のブログでさまざまな情報をお伝えし、あわせて、皆さん方の学習の進捗状況についてお尋ねしていきます。インターネットを開いたならば、随時、仏教学科のブログを確認するようにしてください。

*大正大学HP：メインページ→【自学・自習】課題について
→人間学部仏教学科・仏教学部仏教学科

*仏教学科専用ブログ：大正大学HP→教育〔学部〕→仏教学部【仏教学科】
<http://www.tais.ac.jp/education/faculty/d-1/d-1.html>

③質問コーナー、相談コーナーの設定について

仏教学科では、今回まとめていただくレポートについての質問をはじめ、その他もろもろの相談について、質問コーナー、相談コーナーを設けて教員や職員が対応しています。どうぞ気軽に足を運んでみて下さい。お待ちしております。コーナーの場所と開催時間は次の通りです。

*質問コーナー、相談コーナー：大正大学1号館5階 仏教学科事務室
月曜日～金曜日、午後1時から4時まで

*特に仏教学科では、4月6日（水）、13日（水）、20日（水）の3日間、午前11時から正午までの1時間、1号館4階の141教室において学科懇談会を設定します。交通事情などが許し、大学に来ることができる方は、ぜひ足を運んでください。お待ちしております。

【IV】レポートの形式や提出について

①分量—2000字程度。

②形式—原稿用紙かワープロ出力で提出してください。原稿用紙の場合は、B4版、400字のものを使用してください。ワープロの場合は、A4縦置き、横書きで40字×40行設定で出力してください。

③提出について—専門研究Ⅲの第1回目の講義時に提出してください。提出していただいたレポートは、後日、教員が添削して返却します。レポートの評価は、専門研究Ⅲの成績に加味されます。その詳細は4年生ガイダンス（4月26日10時～）において説明します。